新成人7000人誕生

きょう11時から成人式

きょう午前十一時から成人式が、市体育館で行なわれます。市教育委員会では、昭和二十五年一月十七日から二十六年一月十六日までに生まれた新成人、男女あわせて約七千人を招待します。

成人式は、立派に成人したことをお互いに喜びあい、感謝しあい、そして、社会人としての責任を自覚しあう――というところに意義があるといえるでしょう。多数参加ください。記念講演として、猪股省吾氏(新発田保健所長)の「人間の性について」を予定しています。

会場受け付けは午前十時から、また、十時半からは、新潟交通音楽部の楽団演奏があります。十二時半終了の予定。

「新成人の集い」開催

市教育委員会では、新成人のための「音楽の集い」「講演会」をそれぞれ二月、三月に行なう予定です。同じ世代同志が、歌い、踊り、話しあい、そして考えあう楽しいものにしたいとはりきっています。

近く市報にいがたの紙面で、みなさまにお知らせします。ご期待ください。

はたちの声 入選作

二十歳の私

小泉 昇(天野)

誰もが二十歳になれば迎えるこの成人式。学生の頃のあの入学式、卒業式のような感動がないにしても、人生の区切りとして、今までの自分の生き方は、どうであったのかと、ふりかえることとまた、今後の自分の生き方は、いかにあるべきなのかを考えることにおいても、意義深いものがあるのではないでしょうか。

マスコミと時間に追われ、日ごと変わりゆく生活、日米問題、日中問題、物価問題と、なかなか複雑な社会、海のむこうの戦争。世界がどのような方向に進んでゆくのか、その中で私達は、どのような運命にあり、どのような生き方をしていったら良いのか、微力な私達では予見することは難しいと思うのですが、そんな世界、そんな日本、そんな日ごとの生活なのですから、私達はなお自分を見詰め直し、自分の生き方を考えねばならぬのだと思います。私も成人式を迎えるにあたって様々考えてみました。

もう私は二十年間も生きたことになります。だけど生きたという実感は、この四、五年間ぐらいしかありません。それまでは親の愛と周囲の人々の暖かい目で、私は一種の惰性とでもいうのでしょうか、何も思わず、それほど苦労もなく中学を卒業し、高校に入学したのです。小学校六年の時に父を病気で失くしたこと以外、私にはなにも心に留めることもなく平々凡々としてやってきたのです。高校に入っても、あのことがなければやっぱり、このまま何も思わず、考えることもなく、ごくつまらん人間として卒業したのではないかと思えます。

あのこととは、私が高校に入って半年にもなる時でした。体育の授業中に、私は不注意で足の筋肉を、切ってしまい、病院生活を送ることになったのです。七カ月間という長い間でしたが、この病院での生活で、私は様々教わることが多かったのです。

一回、二回と手術が続き、もう私の心臓は一人の肉体を保持するだけの血液を体内に送り出すことができず、輸血してもらわねばならぬ事態になっていたのです。そんな時に、ただ同じ学校に通っているという縁で、顔もほとんど知らぬ人達が毎日毎日私のために献血に来てくれるのを見て、涙があふれんばかりになり、心から、「ありがとうございます」と言いたいおもいでいっぱいになったものです。一時は、このまま死んだ方が楽で良いのではないかと思うこともありましたが、この人達を見ていると、ぜがひでも生きねばと思うのでした。また先生方、医師の方、知人の方からの心暖まる励まして、一人涙を流したのが、つい最近のように思われるのです。私はこの病院生活での多くの方々から受けたご恩を忘れず、強く生きようと思ったものでした。

そして、もう一度高校生活をやり直し、一年、二年と月日が流れました。月日がたつにつれ、私の心から次第々々にあの人達のためにも強く生きねば、と思う気持ちが薄らいできたのです。あんなにまで心を震わせてありがたく思ったのは、一時的な感傷だったのだろうか。強く生きねばならぬと思ったのは嘘だったのだろうか。嘘ではないにしても、思いつきだったのだろうか、と自分自身に反問し、そして、自分自身の弱さ、だらしなさに気がついたのは、高校生活も最後、卒業式の時でした。

その疑問と、自分自身への怒りをもって、社会人として私は一歩を踏み出したのです。そして、初めてのこの会社で一生懸命働き、立派な社会人となるよう常に自分を見つめながら生きよう、そうすることこそが私自身にも良いことだし、私を心配し、励ましてくれた人達だってきっとよろこんでくれるだろうと思ったのです。ですが私にはそれがこじつけ、云い逃れ、口先だけのことのように思えたのも確かです。だがやってみるより仕方ないのです。夢中になって仕事をやり、考えて友と語り、一年半勤めてみました。

「その結果」私はこんな気持ちを持つようになっていました。できることなら人のためになるような仕事をしよう。私は私のためにだけ生きるのではなくて、できるだけ多勢の人のために私の一生を尽くしてみよう。そうすることで、内的にも外的にもあの病院生活を送った時に私を見守ってくれた人々への恩返しになるのではないだろうか。そのように生きることこそ私の運命なんだ、使命のようにも思えたのです。

それで、私は前の会社を止め、今は市役所東地区事務所の市民係で働いています。私の働きがどれだけ人のためになっているかは甚だ疑問ですが、私は強い自信を持っています。私はくじけられないのです。いつも私を見ている目がそこにあるから。私は一歩大きく歩み出そうとしているのです。自分自身のためにも、私を励まし見守ってくれた人のためにも。私は二十歳、もう二十歳です。誰にでも感謝したい気持ちでいっぱいです。私にとって二十歳とは、自分の生きる道をみつけた時ですから。

(市東地区事務所勤務)

「信号をよく見て渡りましょう」――市役所前の横断歩道で街頭指導

女子交通パトロール隊

二月初旬から街頭で指導

新潟市女子交通パトロール隊が二月初旬から、街頭で交通の指導にあたります。

交通事故防止対策のひとつとして、市が去年十二月に新設したもので、隊員十人。もっか基礎知識、実技など、専門的な研修を受けています。一月末で研修が終了するのをまって、二月からパトロールしようというもの。いつまでも可愛いがってください。

去年一年間の新潟市の交通事故件数は三千二百十四件。傷者四千三十九人で、そのうち死者が四十八人。

年々車が急増するとともに、事故もうなぎ昇りにふえています。車が一台もなければ、車の事故は一件も起きない――まさしくそのとおりです。しかし、「車が急増するから事故も急増するのはあたりまえだ」――というのとは別です。私たちは、悲惨な交通事故に涙を流しながら、一方では、「ああ、またか」という無関心さに慣れているのではないでしょうか。不可効力で起きた事故はほとんどないといっていいだけに、お互いの、ちょっとした注意が大切です。

交通安全ポスター募集

交通事故を少しでも未然に防止しようと、次のとおり児童生徒から「交通安全ポスター」を募集します。多数ご応募ください。

☆**応募資格** 市内の小・中学生

☆**応募作品** 交通事故防止を強調した内容のもので、必ず交通安全に関する文字を入れる。

☆**ポスターの規格** 用紙は画用紙B判三番、画材は水彩またはポスターカラー(クレヨン、パステルでも可)

☆**応募期限** 二月十五日まで

☆**提出先** 市総務部交通課

☆**各学校の先生方へ** 作品を各学校ごとにとりまとめて提出いただければ幸いです。

☆**表彰** 金賞一点、銀賞二点、銅賞三点、参加賞全員

☆**氏名の記入** ポスターの裏面に学校名、学年氏名を記入

スキー教室に参加を

コースは赤倉・小千谷

市では、市民の皆さんが気軽に参加できる"市民スキー教室"を開いています。お気軽に参加を。

☆コース 下表のとおり

☆指導員 全日本スキー連盟公認指導員

スキーは初めてという初心者コースの生徒さんたち

☆募集人員 赤倉スキー場―百人、小千谷スキー場―百五十人

☆集合場所 陸上競技場

☆集合時間 午前七時

☆申し込み先 市保健体育課市民体育係(一番堀通三、陸上競技場内☎六六―八二一一番)

☆申し込み方法 締め切り日までに、実費を添えて申し込んでください。

<スキー教室の日程>

コース	期日	経費	締め切り日
赤倉	2月6・7日	3,500円	2月2日午後5時
小千谷	2月21日	700円	2月13日正午

安全・有利な農林中金の債券

最高です

ワリノー 1年貯蓄で最高(無記名) 利回り 年6.213%

リツノー 5年貯蓄で最高(無記名) 利回り 年7.638%

※農林債券は、あなたの貯蓄をいっそう大きく殖やします。

農林中央金庫新潟支所

新潟市寄居町344の1 〒951 TEL(0252)22-4151(代)

堀川のかまぼこは 板にのった お刺身みたい! と好評です。

かまぼこの―― 堀川

○本社工場 新潟市下場25

○稚内工場 稚内市大黒町1-7

○営業所 酒田・郡山・大阪

スーパー部 本町店・石山店・中山店 下本町店・小金店・浜谷店・寺尾店

この欄の広告の取り扱いは 新潟事業センターへ